

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

15	肩の痛みを伴う疾患の障害像や経過を学習する。 (肩関節周囲炎、腱板損傷など)	[担当] 向山	講義	教科書 p253-254、p 314-320 を理解しておくこと。	1
----	---	------------	----	--------------------------------------	---

回	学習内容等		授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)	
16	肩の痛みを伴う疾患の治療を経験する。(ROM 訓練、筋力訓練、生活指導)	[担当] 向山	実習	教科書 p253-254、p 314-320 を理解しておくこと。	1
17	腰痛症・大腿部頸部骨折・変形性膝関節症の障害像や経過を学習する。	[担当] 小沢	講義	教科書 p256-257,p351-353 を 理解しておくこと。	1
18	腰痛症・大腿部頸部骨折・変形性膝関節症の治療を経験する。(持久力増強訓練、生活指導など)	[担当] 小沢	実習	教科書 p256-257,p351-353 を 理解しておくこと。	1
19	関節リウマチを主体とする膠原病の障害像や経過を学習し、その治療を経験する。	[担当] 小沢	講義	教科書 p260-276 を理解してお くこと。	1
20	関節リウマチを主体とする膠原病の治療方法を学習する。	[担当] 小沢	講義・演習	教科書 p260-276 を理解してお くこと。	1
21	廃用症候群の障害像や経過を学習する。	[担当] 小沢	講義	教科書 p408-457 を理解してお くこと。	1
22	廃用症候群の治療を計画する。(フレイル・サルコペニアなど)	[担当] 小沢	演習	教科書 p408-457 を理解してお くこと。	1
23	事例基盤型学習 (疾患についての検討)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で疾患を理解し評 価計画をたて、まとめる。	1
24	事例基盤型学習 (疾患についての検討)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で疾患を理解し評 価計画をたて、まとめる。	1
25	事例基盤型学習 (評価から目標の抽出)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で目標の抽出を行 い、まとめる。	1
26	事例基盤型学習 (評価から目標の抽出)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で目標の抽出を行 い、まとめる。	1
27	事例基盤型学習 (目標から治療手段の選択)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で治療手段の選択 を行い、まとめる	1
28	事例基盤型学習 (目標から治療手段の選択)	[担当] 小沢、向山	演習	グループ内で治療手段の選択 を行い、まとめる	1
29	事例基盤型学習 (治療の発表)	[担当] 小沢、向山	演習	治療実技の発表準備を行う。	1
30	事例基盤型学習 (治療の発表)	[担当] 小沢、向山	演習	治療実技の発表準備を行う。	1
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	30	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	5	0	0	55
	思考・推論・創造する力	20	0	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。(70%) 試験は授業で学んだ教科書、資料等に基づく問題を出題し、理解度を問う。 問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。	試験は各自に返却し、解説する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

	⑤		
	⑥		

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
成果発表	①	✓	23～30 回に、事例に対する治療の選択を行い実施する。 パワーポイントでまとめ、治療の一場面を実際に行う。 ルーブリックにて評価する。(30%)	その場でコメントを行いフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	向山 秀
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床経験がある。
実践的授業の内容	臨床における最新情報とともに、テキストと併せて臨床における治療で得た知見に基づき、作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。
そ の 他	演習や実技を行う。実技の際は実習着・靴を着用のこと。 受講態度に問題のある学生は退室してもらう。 大学の感染規則に準じて感染対策を行う。 臨床医学（整形外科、脳神経外科、高次脳機能学、老年学）の知識が必要となるので、事前に復習しておくこと。 問題がある場合は授業の参加を認めない。 学生が適切に授業を受けるためにシラバスの変更がありうる。